

令和2年2月定例会議事録

令和2年2月5日

鹿屋市教育委員会

○日 時 令和2年2月5日(水)
15時から16時まで

○場 所 教育長室

○出席者

教育長	中 野 健 作
教育長職務代理者	風呂井 敬
教育委員	蓑 田 繼 男
教育委員	黒羽子 ひとみ
教育委員	早 川 雅 子

○関係者

教育次長	深 水 俊 彦
教育総務課長	牧 口 充 文
学校教育課長	安 藤 晋 哉
生涯学習課長	穂 園 正 幸
教育総務課課長補佐	柿 内 徹
教育総務課管理係長	中 村 あけみ

○議事日程

- 1 開会
- 2 前回議事録の承認
- 3 教育長及び委員の報告
- 4 議事
 - (1) 議案第30号 令和元年度鹿屋市一般会計補正予算（第5号）に係る意見の申し出について
 - (2) 議案第31号 令和2年度鹿屋市一般会計当初予算に係る意見の申し出について
- 5 報告
 - (1) 令和2年度鹿屋市立看護専門学校入学試験結果報告について
 - (2) 第5回鹿屋女子高校キッズビジネスタウンについて
 - (3) 第38回鹿屋市美術展について
- 6 動議の討論等
- 7 その他
- 8 閉会

○議決事項

議案番号	件 名	審議の状況	採決次第
議案第30号	令和元年度鹿屋市一般会計補正予算(第5号)に係る意見の申し出について	特記事項なし	原案可決
議案第31号	令和2年度鹿屋市一般会計当初予算に係る意見の申し出について	特記事項なし	原案可決

○議事要旨

1	開 会
教育長	<p>本日はこの後に、女子高新校舎見学を予定している。新型コロナウイルス肺炎の流行について報道があり心配なところである。鹿屋市内の小学校ではインフルエンザの流行で、学級閉鎖の学校もあるが回復傾向で安心している。昨日、教育実践発表会が開催された。フッ化物洗口の取組は継続していきたい。学力定着率は、地区、県ともに平均を上回り、中学2年生は上昇傾向であるが、中学1年生は横ばいであり、全体的には時間をかけても継続していく。</p>
2	前回の議事録の承認
教育長	<p>異議無く承認</p>
3	教育長及び委員の報告
蓑田委員	<p>昨日の教育実践発表会で、中学生の英語弁論が素晴らしかった。市内に残ってほしい人材であり、将来の活躍を期待する。教育実践発表会のプログラムや編成についても良かったと思う。</p>
黒羽子委員	<p>表現力や訴えを英語で表現する力があり、素晴らしかったが英語で弁論文を作成する過程に興味があり知りたい。</p>
学校教育課長	<p>日本語で原案を作成し英文にしていくが、作成のメインは生徒であり、教師は助言して英語で表現を作っていくという手順ではないかと思う。</p>
教育長	<p>高円宮杯に出場する力があることも誇らしい。</p>
4	議事
	<p>(1) 議案第30号 令和元年度鹿屋市一般会計補正予算（第5号）に係る意見の申し出について</p>
教育総務課長	<p>資料に基づき説明</p>
風呂井委員	<p>学校教育課に、繰り越して執行するとあるが繰越明許費のことか。</p>
教育総務課長	<p>国が補正予算で成立させ、本年度中に予算措置し、交付決定を受けることとなる。しかしながら、事業としては本年度に実施はできない</p>

早川委員	<p>め、繰越明許費として来年度に繰越し執行するという事である。</p> <p>鹿屋市の奨学資金について利用見込みが少なく、大学生の利用が半数以下ということであるが、需要がないという事ではない為、周知徹底をすべきではないか。</p>
学校教育課長	<p>新規希望者は、平成30年度は6名、平成29年度は9名と低調であったため、利用者の増加を目的に学業に関する推薦の廃止と、家計の選考基準を県給付型から貸与型の募集基準に変更したところ、今年度は19名であった。周知については学校側に依頼しているが更に周知するよう努めたい。</p>
教育長	<p>奨学金制度を利用しても、返済が困難であるとの報道が近年されたことが影響し、利用者が一桁台であったが改善の結果、今年度は二桁台に増えた。今後も周知徹底していく。</p>
黒羽子委員	<p>先日東京で開催された研修で、GIGAスクール構想については、大部分の委員が初めて聞いた。12月中旬以降に県に周知したという返答であり、市町村には、今日、明日に説明するという事だった。委員からは、2月で補正を組まなければ、年明けの6月になるのではないか、小規模の市町村では補正予算を組込めない、また、乗り遅れた場合の対応等、かなりの疑問や質問があった中で、鹿児島県や鹿屋市は補正予算を設けていたことに感心した。ネット環境について、鹿屋市内の全ての学校には光回線が開通しているのか。</p>
教育総務課長	<p>学校は、市の光回線を使用しているが、1Gの契約である。国の目標は10Gであるが、対応する回線自体が鹿屋市にはない状況である。都市部は民間のサービスで10Gの対応をしており、今後の課題である。</p>
早川委員	<p>環境がないところで構想を立てられても困るところだ。</p>
教育長	<p>原案可決とすることに異議はないか。</p> <p>(異議なしとの発言)</p>
教育長	<p>異議がないので、議案第30号は、原案可決とする。</p>

	(2) 議案第31号 令和2年度鹿屋市一般会計当初予算に係る意見の申し出について
教育総務課長	資料に基づき説明
学校教育課長	資料に基づき説明
生涯学習課長	資料に基づき説明
学校教育課長	「かのや英語大好き事業」と「特別支援教育推進事業」の減額率が大 きい印象だが、小学校の英語指導講師と特別支援教育支援員に係る経 費については会計年度任用職員経費となったので、別事業扱いとなっ た。
教育長	会計年度任用職員に切り替わることについて説明を依頼する。
教育総務課長	これまでの臨時職員については、嘱託職員とパート職員の形式で雇用 をしていたが、地方公務員法の改正に伴い、会計年度任用職員制度に変 更になった。1年毎の契約に基づいた職員制度になり、職員に準じ、守 秘義務や職務専念義務等が課せられる一方で、連続雇用の制限がなく、 期末手当が制度化となったところである。
風呂井委員	市報に記載された決算の歳出額のうち、教育費が12%であるが令和 2年度の教育予算として必要な数値であると思う。政策予算は申し出 をして決定すると思うが、通らなかった事業等あったら教えていただ きたい。
教育次長	財政的な部分では、鹿屋女子高の新校舎建設や北部給食センターの 建設で経費を必要とした。文科省は、ICT教育やGIGAスクール構 想を推進しており、補助はあるが自治体が相当額の負担を課せられ厳 しい状況であり、経費を削減するため一部見送った事業もある。
教育総務課長	全体の予算が計上された段階で、全体に占める教育費の割合はまだ出 ていない。しかし、大幅な増減額になっているという感覚ではないが、 扶助費が増額していることから、全体に占める割合からすると若干減 額があるのではないか。
教育次長	他に、鹿屋東中学校や寿北小学校のプール改築や各学校の空調設備も 加算される。平準化に努めるが、文科省からGIGAスクールやデジタ ル教材、ICT構想を盛込んでくるため経費運用が厳しい状況である。

黒羽子委員	統合型校務支援システムとの関係は不明だが、報道で他県の学生が改ざんをした成績表を保護者に渡した事や、学校側が生徒に通知表の配布が間に合わない問題が発生したが、導入する事で問題はないのか。
学校教育課長	セキュリティに関しては、今の学校の状況よりは安全になると思う。
教育長	学校が単独で実施しているのではなく、鹿屋市や教育委員会の取組でありシステム強化をする。一元化に伴い教職員の事務作業は軽減されていくであろう。
黒羽子委員	全ての教員がスムーズに取り組めるのか。
教育長	導入当初は、多少の個人差があるかもしれないが、多少時間はかけても扱えないといけないシステムである。
教育長	原案可決とすることに異議はないか。 (異議なしとの発言)
教育長	異議がないので、議案第31号は、原案可決とする。
5	報告
学校教育課長	(1) 令和2年度鹿屋市立看護専門学校入学試験結果報告について 資料に基づき説明
学校教育課長	(2) 第5回鹿屋女子高校キッズビジネスタウンについて 資料に基づき説明
生涯学習課長	(3) 第38回鹿屋市美術展について 資料に基づき説明
教育長	市美展で対象受章作品は、寄贈するようだが。
生涯学習課長	大賞と市長賞の作品は、収蔵庫に保管し毎年開催される収蔵展で展示している。

風呂井委員	無償なのか。
生涯学習課長	賞金授与と寄贈を交換条件としており、これまでの作品も収蔵庫に保管している。
6	動議の討論
教育長	発言がないので、動議はないものとする。
7	その他
生涯学習課長	高校生ミュージカル「ヒメとヒコ」、トークショーのご案内 資料に基づき説明。
教育長	次回の定例教育委員会は、令和2年3月17日（火）15時00分から教育長室で行う。
8	閉会
教育長	以上をもって2月定例教育委員会を閉会する。 以上